

【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

納税に誇りを持って

高森町立高森中学校

三年 後藤 玲 来

自分は、税は最も必要不可欠なお金であると考えます。税と聞くと、消費税やふるさと納税をイメージします。特に、消費税は自分たちに一番身近な税金でもあります。他にも、税金は、「医療」「学校」「年金」「公共事業」といった多くの場面で使われています。

自分は、「医療」に関する税金に注目しました。その中でも、救急車について考えました。日本では、救急車を呼ぶのにお金は不要です。119番にコールすれば、駆けつけてくれ、病院にまで無料で運んでくれます。しかし、世界ではそれを有料としている国もあります。例えば、ニューヨークでは救急搬送されると、14〜16万円ほどの搬送料金がかかります。そして、酸素投与や病院までの搬送距離によって、それぞれ追加料金が請求されます。それ以外にも、重症かどうかで変わったり、搬送先によって変わったりする国がたくさんあります。それに対して日本は、患者の国籍や症状、搬送する場所に関わらずいつでもだれでも搬送してくれます。このように、日本の救急車出動費用が無料なのは、税金によって賄われているからなのです。

日本では、救急車は行政サービスの一環であることから、救急隊の人件費やメンテナンス代、救急車内に設置されている医療機器などの費用は全て税金が使われているのです。これには、「消費税」も含まれています。もし、有料であれば、救急車を一度呼んだ場合、約4万5千円かかるといわれています。自分は、救急車の利用は無料だということが当たり前だと思っていました。しかし、それは日本だから無料なんだということが分かりました。世界に目を向けてみると、救急車を使いたいのに、いくらかお金を払わなければならない。それに、応急処置をしてもらうとなると追加で払わなければならない。そのような国がいくつもあるということに驚きました。私は、日本での税金の使い方に対して、誇りを持ちたいと感じました。

税金は、「医療」の面だけでなく、小・中学校の教科書無償や道路・橋・公共施設などの整備にも使われているのです。税金の大切さ・使われ方を理解し、納めることは、自分たちの生活をより豊かなものにしていくことが分かりました。自分は今まで、税について、詳しく知りませんでした。しかし、この作文を書くにあたって、税について調べ、深く知るきっかけになりました。